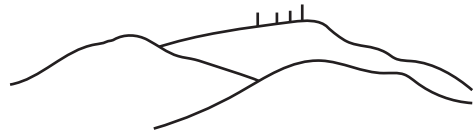


Youth Manna

2018/8/13-8/19



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2018/8/13(月)

マルコ 12:1-12

このたとえの主人は父なる神様を、遣わされたしもべたちは預言者たちを、最後に遣わされた息子はイエス様を示しています。
●このたとえの主人の行動から、天の父なる神様がどのような方だとわかるでしょうか？

そして農夫たちは、イエスを捕らえ、殺そうとしている祭司長たちを指しています。祭司長たちはイエス様が自分たちを指して語っていることに気づきましたが、彼らは最後まで自分たちの罪に気づき、悔い改めることはありませんでした。イエス様はイスラエルの民から拒絶され殺されますが、よみがえられ、教会という神の家を支える最も大事な石(要の石)となります。

●神様の不思議な大きな計画が自分の上にもあることを知るなら、私たちの生き方はどう変わのでしょうか？祈りましょう！

2018/8/14(火)

マルコ 12:13-27

イエス様を陥れるためにされた質問は、カイザルに税金を納めるようにと言えばローマに協力者として同国民に対する裏切り者とされ、カイザルに納めてはいけないと言えばローマへの反逆者として訴えられる可能性のあるものでした。でもイエス様はとても知恵のある答えを言って、誰も何も言えませんでした。パリサイ人達は自分の都合の良いように神様のことばを利用する心で使いました。でもイエス様はこの質問も次の質問も神様の心を知って、聖書と神様の力に基づいて答えました。

知恵のある神様に何でも聞こう！！聖書と神様の力をもっと理解出来るように祈ろう！

2018/8/15(水)

マルコ 12:28-37

律法学者の一人の人は、すべての命令(律法)の中で、どれが一番大切かをイエスに尋ねた。イエスは、神を愛することを最も大切な命令とし、隣人を自分自身のように愛することを次に大切な命令であると明確に答えられた。すると彼は、「先生。そのとおりです。」と言い、自分の考えも付け加えてイエスに話した。自分の考えとイエスの考えが同じであることに、我が意を得たりと自信を深め、イエスから学ぶという姿勢よりも、自己主張が上のようにも思える。

イエスは、そんな彼に「あなたは神の国から遠くない」と言われた。これは、賢い答えをした彼への評価とともに、彼に対する招きでもあった。彼は、イエスの言葉をどのように理解したのだろうか。主が語られることがよくわかるように、神の国に招かれているものとして、主を愛し、隣人を自分自身のように愛することができるよう、お祈りしよう！

2018/8/16(木)

マルコ 12:38-44

今日の前半は、ごう慢な律法学者たちの話、後半は、レプタ銅貨2枚を献げるやもめの話がでてくる。

聖書をよく知るはずの律法学者たちは、人に良く見られようと権威の象徴を見せつけたり、長い祈りをして立派に見られようとした。神さまを主としない、人の目を気にし人の関心を引くための行動をした。また、金持ち達は有り余っている中の大金を献金箱に投げ入れた。それも律法学者と同じようなものである。

そんな中、レプタ銅貨二枚という生活費の全てを捧げたやもめの信仰を見て、イエスさまは喜ばれた。

信仰に生きる姿とはどのようなものだろうか。考えてみよう！！

2018/8/17(金)

マルコ 13:1-13

私達が世界宣教という命令に従い進む中で起きる事をキリストは話しました。その中の一つに迫害する者が現れると言いましたが、それはイエスに従いその名を用いる事によって起こる迫害です。これには段階があり、まず自分がキリストの命に従い日々生きているかが問われます。自分の生活を振り返って何を恐れているか考えてみよう。もし神を恐れているなら既に迫害を感じている人もいるかもしれませんね！また人を恐れるゆえに迫害を恐れているクリスチャンもいますね！もし自分の信仰によって苦しんでいる事があればセルで分かち合おう！今その苦しみを神様に委ねる祈りをしよう！また、神様だけを恐れていけるように祈ろう！

愛と平安で心が満たされるように祈ろう！思わされた事を祈り、神様に感謝して出ていこう！

2018/8/18(土)

マルコ 13:14-27

今日の箇所ではイエス様は、苦難や惑わし、これから来るサタンへの攻撃について語られた。過去にも、イエス様が語ってからしばらくしてから実際に偶像礼拝の拡大など、それらしいことがあった。でも、イエス様は世の終わりの出来事にも焦点を当てていたんだ。偽キリスト、偽預言者が現れる、ありえないような災害、それが終わりの日には起こる。

でも、主は信じ従う者を決して見捨てず、守り導いてくださることを約束しているね。

終わりの日をただこわいと恐れるのではなく、そこに救いを用意しておられるイエス様に目を向けよう！そして、偽物に惑わされないために何が必要か考えよう！

2018/8/19(日)

マルコ 13:28-37

イエス様は必ず再びこの世に来られますが、それがいつかは誰にもわかりません。だからこそ、私たちはいつその時が来てもいいように「備える」必要があります。

明日その時が来たらどうしますか？

明日までに聖書は全部読めないだろうし、明日までにお世話になった人全員に愛を表すのもむずかしいかもしれません。

正直、この日までにこのぐらいうまくないって言われたほうが準備しやすいよね。でも私たちは、「いつかはわからないけど必ず来るその時」にむけて備えなければなりません。

あなたが今日から選ぶその一歩を神様は待っています。

◎あなたが今日できる「備え」とはなんだろうか。